

「ありがとうさがし」をしよう

今日は、先生の好きな言葉を紹介したいと思います。皆さんは、「ありがとう」という言葉を知っていますね。言われたことのある人。たくさんいるね。言ったことのある人。これもたくさんいるね。



「ありがとう」という言葉は、もともとは、「有り難い」でした。「有ることが難しい」ということで、滅多にないことをいいます。

昔は、ものをもらったり、親切にしてもらった時、あることのむつかしいことを、あなたは私にしてくださいました。「ありがとうございます」と言っていました。それがやがて、感謝を表すお礼の言葉になってきたそうです。

皆さんは今年、「ありがとう」と思うことを何回経験しましたか？

友だちに話をしたり、先生に相談したり、いろんな人に見守られています。でも、そういうことが当たり前じゃない世の中で生きている人たちがいます。ご飯が食べられない。帰る家がない。昔の日本でも、戦争の頃、食べるものがなくて

死んで行く子どもがたくさんいました。今は、いろいろと恵まれている時代だからこそ、当たり前のことありがたいことだと、大事にしていかななくてはいけないと思います。

黙っていても、毎日ご飯が食べられる、洗濯した服が着られる、布団で寝られるなど、普段当たり前と思っていることも、時代や国が違えば、「有り難い」ことなんです。おうちの方に感謝ですね。

今年ももうあとわずかになりました。新しい年が始まるまでに、よく今年の振り返りをしましょうなんて言われます。ぜひ、今年は「ありがとう」と思う出来事を思い出してください。きっと、気持ちよく新しい年を迎えられると思います。